

お 知 ら せ

令和4年11月2日
内閣官房

1. 北朝鮮は本日16時台、北朝鮮東岸付近から、少なくとも1発の弾道ミサイルの可能性のあるものを東方向に向けて発射した。詳細については現在分析中であるが、最高高度約50km以下の極めて低い高度で短距離を飛翔し、落下したのは我が国の排他的経済水域（EEZ）外と推定される。
2. 付近を航行する航空機や船舶への情報提供を行ったところ、現時点において被害報告等の情報は確認されていない。
3. 総理には、本件について直ちに報告を行い、
 - ① 引き続き、情報収集・分析に全力を挙げ、国民に対して、迅速・的確な情報提供を行うこと
 - ② 航空機、船舶等の安全確認を徹底すること
 - ③ 現下の情勢を踏まえ、不測の事態に備え、万全の態勢をとることの3点について指示があった。
4. また、政府においては、官邸危機管理センターに設置している「北朝鮮情勢に関する官邸対策室」において、関係省庁からの情報を集約するとともに、緊急参集チームを招集し、対応について協議を行った。
5. これまでの弾道ミサイル等の度重なる発射も含め、一連の北朝鮮の行動は、我が国、地域及び国際社会の平和と安全を脅かすものである。
6. 国民の生命・財産を守り抜くため、引き続き、情報の収集・分析及び警戒監視に全力を挙げ、今後追加して公表すべき情報を入手した場合には、速やかに発表することとしたい。